

「ぶらすゆう」って？



「ぶらすゆう」ってなに？

「ぶらすゆう」は、子ども・若者（おおむね15～39歳の青少年）の「悩み」や「話」を聴く場所です。生涯学習課の青少年係が担当する他、2人の相談員がいます。学校や会社での生活や人間関係などに悩む若者たちの話を聴き、寄り添います。もちろん、ご家族からの相談もお受けします。相談料はかかりません。



どんなことが相談できるの？

相談内容は人によってさまざまです。「こんなこと話していいのかな…」と思うことでも、気軽に相談してください。以下は、全国の相談室に寄せられた相談の例です。



※個人の特定を防ぐため、「ぶらすゆう」で実際にあった相談ではなく、全国の相談室に寄せられた相談内容を掲載しています。

本人からの相談

- ▶人間関係がうまくいかず悩んでいます。人と何を話してよいか分からず、うまく会話ができません。そのことが原因で学校（職場）になじめなく、居場所がなくなり、行けなくなってしまいました。
- ▶今まで引きこもっていました。親が病気になったので働き始めようと思います。でも何からすればいいのかわかりません。

家族からの相談

- ▶大学2年になる息子が学校へ通っていないことが、大学から通知された成績表で分かった。電話で本人に確認すると、体調を崩して学校へ行けなくなったとのこと。何度か電話で近況を確認することが続いたが、電話に出なくなり、LINEも既読が付かなくなった。これからどうしたらよいか。

新型コロナウイルス感染症に関する相談

- ▶コロナでやる事がなくてネットゲームにはまってしまいました。お金はどんどん減るし、朝起きられなくなるし。こんな生活抜け出したいけどやめられない。どうすれば…。
- ▶コロナで学校はリモート授業がほとんど。勉強に身が入らない。こんな大学生活を続けて就職できるのかな？

中高生からの相談

- ▶相談は特にない。話を聞いてもらいたいだけ。（家族のこと・進路のこと）
- ▶付き合っている彼女との関係と将来について（恋愛・進路相談）



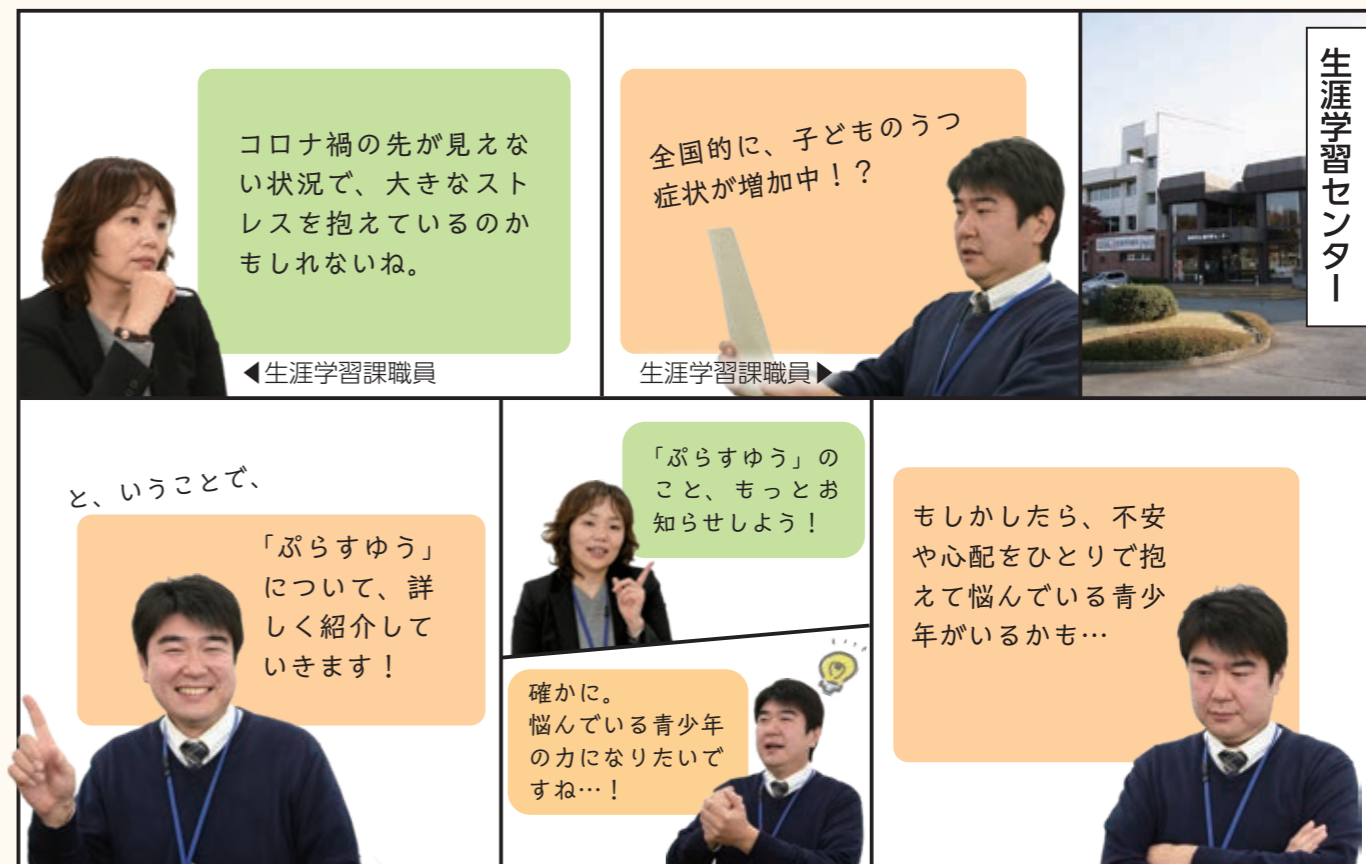
自分の思いを聴いてもらうだけでも気持ち楽になりました

解決に向けて、専門機関を紹介してもらい、役に立ちました

特集

若者・青少年相談室「ぶらすゆう」ってどんなところ？

問い合わせ 生涯学習課 (☎62-1531)



生涯学習センター

コロナ禍の先が見えない状況で、大きなストレスを抱えているのかもしれないね。

◀生涯学習課職員

全国的に、子どものうつ症状が増加中！？

生涯学習課職員▶

と、いうことで、

「ぶらすゆう」について、詳しく紹介していきます！

「ぶらすゆう」のこと、もっとお知らせしよう！

確かに。悩んでいる青少年の力になりたいですね…！

もしかしたら、不安や心配をひとりで抱えて悩んでいる青少年がいるかも…

昨年から続くコロナ禍で、心に不自由はないですか？

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい始めてから1年以上がたちました。今まで当たり前だと思っていた日常が変わってしまい、新しい生活に適応しようとする皆さんの心には、日々ストレスがかかっています。学校生活や会社での人間関係はどうですか？自粛生活の中で先が見えず、心がむなしくなってしまった人もいるのではないのでしょうか。

市では、生涯学習センターで、「ぶらすゆう（若者・青少年相談室）」を運営しています。「ぶらすゆう」には、「あなたと一緒に」という意味が込められており、学校や家とは違う環境で、専門の相談員が相談者の皆さんの話を聞いています。悩みがある時、モヤモヤする時、話を聞いてほしい時、悩みはないけど居場所が欲しい時…さまざまな場面で利用できます。次ページから「ぶらすゆう」について紹介します。

